

# かがやき

桶川市男女共同参画情報紙【17号】

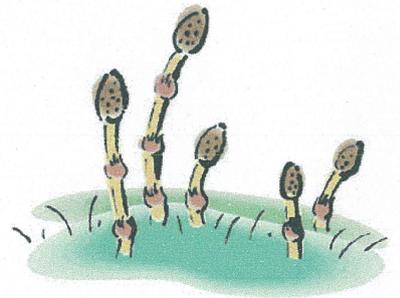


## 男女共同参画フォーラム2012

『男女共同参画フォーラム2012』の講演会が  
1月7日(土)に市民ホールで開催されました。

講師は、現役の医師であり続け聖路加国際病院  
理事長など多くの役職を務められながら全国  
各地での講演会や学会・会議への出席、  
著書の執筆等、あらゆる世代にメッセー  
ジを送り続ける世界で最も多忙な  
100歳の日野原重明先生です。

医療界そして熟年世代の  
スーパースターの登場に、  
会場の高揚感は一気に  
高まり、記憶に残る  
ひとときとなり  
ました。



特集

キラリ★★

かがやき女男<sup>びと</sup>

- ★ 主婦・母でも起業を決意
- ★ 育児をしながらマナー講師を目指す
- ★ 子育てが楽しいイクメンパパ

# キラリ★★ かがやき女男



アンカルク株式会社

代表取締役

赤井美津江さん

事務代行、Web制作会社を設立した主婦であり、母である女性。行動力があって前向き、芯の通った女性です。



兼業主婦も、専業主婦も経験されていますが、その都度、自分で進むべき道を決め、その時その時を楽しんで生活してきたとのこと。出産後も続けていた仕事を家庭の事情で辞めることになった時は寂しく残念な気持ちもあったそうですが、子育てに専念した期間は楽しく、仕事とは違う世界があることを知り、とても良い時間だったと振り返っておられました。

「運が良く、周りの人に恵まれ、家族の協力もあり、今の自分がある。」との事。

後続く女性にメッセージを願ったところ、「一番に伝えたいのは、**私がどこにいても**」

いる普通の女性」ということ。」「目標に向かって、今できることをやってみる。その時、その時を一生懸命に楽しむ。」と温かく、説得力のあるメッセージをくださいました。

子どもの成長に合わせて、社会復帰後、「女性が向上心と責任感を持って働き続けられる会社を作りたい!」、「女性の社会参加の手伝いをしたい!」と起業を決意されたそうです。起業は子育て、親の見守り、そして自分のやりたいこと、全部ができる一石三鳥の道だとおっしゃっていました。

飾らない性格で、人を惹きつける魅力を持つ素敵な女性でした。

## 育児をしながらマナー講師を目指す 原田綾香さん



Q. 将来、目標にされていることは何ですか?

A. マナー講師の仕事です。

Q. 何故、それを目指したいと思ったのですか?

A. グランドホステスの仕事を通して、お客様に接する時のマナーの大切さを学びました。その経験を生かして社会に役立ちたいと思ったからです。

Q. 目標に向かって、今、何かされていますか?

A. 日本の伝統的マナーの知識を得るために、着付け教室へ通っています。

Q. 子育てと両立する中で、社会へどのようなサポートを期待しますか?

A. 直前の申込が可能で、気軽に利用できる保育施設が増えたら良いと思います。

Q. 原田さんが目指すマナー講師像を教えてください。

A. お客様に感動を与え、また来たいと思っただけの接客対応の指導が出来る講師です。

【インタビューをしながら感じたこと】

未来に向かっての強い意志を持ち、充実した毎日を送っている原田さんの明るい笑顔がとても印象的でした。女性が仕事をしていても生活の調和が保て、誰もが未来を拓き輝ける。そんな社会へと動いています。

# イクメン という言葉をご存知ですか!?



近年、子育てを積極的に楽しむ男性が『イクメン』と呼ばれ注目されています！川田谷にお住まいの『イクメン』の香り漂うりんちゃんパパにお話しを伺ってみました。

Q. 子育てについてどの様なことを協力されていますか？

A. 家に居る時には母親が行うことは一通りやっています。協力するというよりは、子供が可愛いので自分が関わりたくてやっていますね。

Q. お仕事で疲れた時には一人でゆっくりとしたい時もありますか？

A. もちろんあります。でも母親も家事や子育てで疲れているので一緒に子育てを行うことが大切だと思っています。

Q. 父親が子育てに積極的に関わると、どの様な良い影響があると思いますか？

A. 夫婦のコミュニケーションが増えます。子供の事や子育ての話をしながらか更に夫婦の関係も深まるものです。

Q. 子供を遊ばせる子供連れの母親が多い施設にも一緒されておりますが、女性の中に入っていくことに対していかがですか？

A. 多少照れますが、子供が楽しい時間を過ごせるので行っています。自分ひとりで女性の中に入っていくとなると何を話したらよいのか悩みますが、子供が一緒ならば子供を介してコミュニケーションができますので他のお母さんとの関わりは大丈夫ですよ。夫婦間のコミュニケーションと同じですね。

Q. これから『イクメン』を目指すパパに向けて、アドバイスはありますか？

A. 子育てに関わっていくのに、何から始めるとか何をしなくてはいけないとか構えることはありません。子どものそばにただ居ればいいのです。そうすると、関わりの中で自然とてあげられることが見つかります。家の外でも内でも同じです。そばに居れば愛情もますます深まります。自分ってこんな人間だったのかと気付かされることもたくさん見つかります。

Q. 今、子育て中や、これからパパになる方へメッセージをお願いします。

A. **子育ては楽しい！ 子育てに参加しないのなんて「もったいない！」** この一言です。

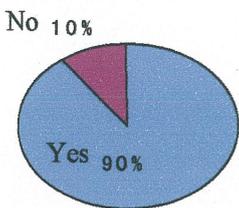
子どもは大人の予想もしていないような反応をします。また、成長の変化に日々、感動があります。こんなにおもしろく楽しい事は他にはありません！ 皆さんも是非、子育てに積極的に参加しましょう！！

【インタビューをしながら感じたこと】

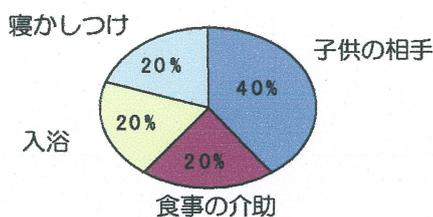
楽しみながらの『イクメン』を笑顔で語ってくれた“りんちゃんパパ”。実際に子育てに関わっているからこそ出てくる言葉なのだと感じ、とても心に響きました。

## 【市内在住の専業主婦に伺ってみました!!】

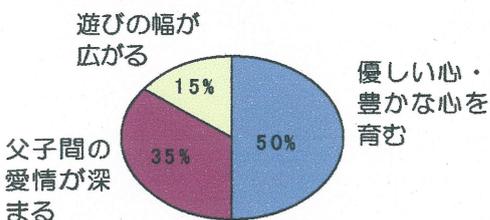
Q. 父親は育児に参加していると思いますか？



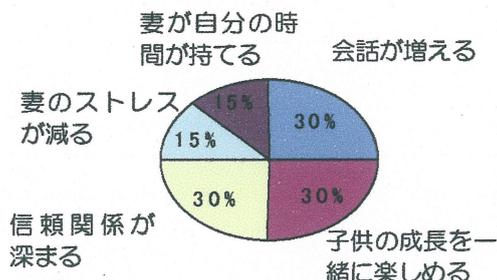
Q. 具体的に協力して欲しい事は？



Q. 父親が育児参加することで子供にどのような影響があると思いますか？



Q. 夫婦間に与える影響は？



Q. イクメンについて、どう思いますか？

A. 女性も働くのが当たり前の世の中で、男性の育児参加ももっと当たり前になって欲しい。

A. 事情が許される限り参加して欲しい。

A. うらやましい。

A. 社会の制度が確立されれば、もっとイクメンも増えて、子育ての楽しみを感じる事が出来ると思う。

最後に・・・仕事も家庭も育児も、男女がともに分担し責任を分かち合うことや、社会全体の働き方も見直されることで、働く女性にとって負担であった「仕事+家事育児」が解消されて、より充実したキャリアプラン、ライフプランを築くことが可能になるかもしれません。

## 人権・男女共同参画課からのお知らせ



### 固定的性別役割分担意識を変えよう ～ 男性の自殺は女性の2倍以上 ～

日本人の自殺者は、警視庁発表によると平成22年に31,690人でした。このうち、男性の数は約22,300人(女性は、約9,400人)で約70%を占めています。自殺原因を男性に絞ってみると1位「健康問題」2位「経済・生活問題」となっていて、働きざかりの30代から60代が大半をしめています。

男性は仕事、女性は家事・育児という性別役割にとらわれず、働き方を柔軟に考えることによって、多くの男性が解放されるのではないのでしょうか。

### 女性相談

(フェミニスト・カウンセリング)

家庭や地域、職場の中でさまざまな悩みを持つ女性を対象とした専門のカウンセラーによる女性相談室です。

相談日：毎月第1・第3月曜日(原則)  
10:00～12:00・13:00～16:00  
場所：アソシエ(勤労青少年ホーム内)  
相談員：県外のフェミニストセラピー専門の女性カウンセラー

■面接(1人50分)相談 ■要予約

お申込み・お問合せ

桶川市人権・男女共同参画課  
Tel.786-3211

### 男女不平等苦情処理機関

「男女不平等の苦情に対応する機関です。」

申出内容：市の施策への苦情・人権侵害  
申出者：市内在住・在勤・在学者  
申出方法：苦情申出書を人権男女共同参画課へ  
申出用紙：人権男女共同参画課又はHPから  
処理方法：男女不平等苦情処理委員が調査し、  
勧告・助言・是正の要望等を行います。

これまでの申出内容

- ・女性政策担当部署を市長直轄の独立部署へ
- ・区長会の女性役員を増やす改善策を
- ・公立保育所への男性保育士の配属を

### 編集後記

自分達と近い年代の方々が、それぞれの分野で性別や立場にとらわれず、夢を持って今を楽しんでいるお話を聴き、とても前向きな気持ちとなりました。

編集委員一同

《問合せ先》 桶川市 人権・男女共同参画課 〒363-8501 桶川市泉一丁目3番28号  
TEL048-786-3211 FAX048-786-9866  
URL <http://www.city.okegawa.lg.jp> E-mail [danjo@city.okegawa.lg.jp](mailto:danjo@city.okegawa.lg.jp)

平成24年3月発行